

式辞にかえて

桜の花のなお美しきここ真美ヶ丘キャンパスにおいて畿央大学への入学を許可された皆さん、誠におめでとうございます。

さらに、この日を迎えるにあたり、これまで長きにわたり入学生の皆さんを見守り、励まし支援されてこられたご家族および関係者の皆様方にもお慶びとお祝いを申し上げます。

畿央大学は、ここに学ぶ学生の一人ひとりが将来のありたい姿、夢の実現に向けて、大きく成長できる、素晴らしい教育の場です。この教育の場は、畿央大学の構成員である学生、教職員、そして既に社会で活躍されている卒業生が一体となって作り上げてきたものです。

今日からは新入生である皆さんもその中に加わり、お一人おひとりが人生の夢の実現に向かって、自ら道筋をつける努力をされ、人格的に大きく成長されることを期待しています。

畿央大学では、学園の創設者である冬木智子初代理事長が掲げた建学の精神を教育理念としています。

建学の精神の一番目は、「徳をのばす」ということです。徳とは、人の寂しき、悲しきを察する心をもって、優しさを世界中に広めていこうとする心のありようです。二番目は、「知をみがく」ということです。これは、人類の進歩向上は、自己の才能を最大限練磨することにあり、私達はあくことなく頭脳を磨き、励まし合い、研究的な態度を養い、あくことなく知的探究を行うという、「学びの姿勢」を示す言葉です。三番目は、「美をつくる」ということです。美とは、何かを作ろうとする活動のゴールに対する最高の評価を示す言葉であり、憧れの対象となるものです。芸術作品はもとより、工業製品から、自然科学の法則、数学の定理、さらに魅力ある心や生きる姿など、具象的なものから抽象的なものまで、すべてが美の対象であり、人に感動を与えるその在り方です。

この建学の精神を指針として、豊かな教養を備え健康と教育の分野において高度な専門的知識と技術を有し、日本および国際社会に貢献できる人材の育成を本学は教育の目的としています。

現在、日本はもとより国際社会は、急激な変動の最中にあります。今回の新型コロナウイルス感染症の拡がりとその防止対応により、その動きが顕著になり、情報通信技術の進展はこの変化を加速しています。人類の歴史に学べば、大きな社会構造と価値観の変化を伴って数年の間には終息することは間違いがないところですが、私どもは個人として、組織として、冷静に判断し協力して行動することが重要です。このような行動には、専門的知識に対する理解とそれを背景とした幅広い教養が求められます。

大学において専門的知識や技術を学ぶ過程において重要と考える三つのことについて述べます。

一つ目は、知識や技術を「学ぶ」姿勢です。重要なのは、自ら能動的に学び続ける姿勢です。学び続けることの原動力は、「分かること」の楽しさを経験することであると考えます。「できる」というだけでなく、「分かる」という段階に到達するために、「なぜか」という疑問を何事に対しても持ち、常に考え探究する姿勢を持ち続けてください。「なぜか」と問う知的好奇心を大切にし、分かるまで考え続けることができれば、分かることの楽しさを経験でき、同時に深く理解することができます。

分かることを重視する学ぶ姿勢は、大学の中での学習や研究の時だけでなく、学外実習、地域連携の取組み、国際交流など大学生生活のすべての局面において持ち続けてください。感動や喜びの経験も、学習への大きな動機となります。このような学びの積み重ねにより、豊かな人間性が生まれ、建学の精神の「徳をのばす」ことにもつながります。

二つ目は、学ぶ対象について視点です。知識・技術を体系として捉える視点です。専門分野の知識は、個々の要素知識をまず理解することが必要です。さらに、個々の要素が互いにどのように関係しているのかを知ることが必要です。それらの関係が分かると、その分野の専門知識を体系的に理解することができます。

体系的に把握できるようになると、関連のある他の専門分野の知識との関係が見えてきます。さらに、知識や技術の個々の要素は、それを現場でどのように使うのか、問題の解決にどのように適用するのか、ということに結び付けて理解すると、より実践的な知識、確かな技術となります。

これから大学で学ぶ専門知識や技術を、記憶するだけの寄せ集めではなく、他の分野と関連している知識・技術の体系としてとらえる視点を常に持ってください。

三つ目は、「学び」の保存です。知識や技術は常に発展・拡大します。これから学ぶことを大切に、生涯にわたり成長させることを入学当初から計画してください。

授業で出てくる専門用語の確認やレポート作成の際には、インターネットで検索をして情報を収集しますが、その情報は常に変化します。したがって、これから皆さんが学ぶ専門知識と技術に関して、デジタル化されている資料や学習記録は整理して順次保存し、大切な個人の知識・技術の財産として蓄積することを心がけてください。皆さん全員に大学から最新のノートパソコンを貸与しました。在学期間中はその中に個人の学習記録も含め、知識・技術のデジタル資料を系統的に保存し学習に活用して下さい。

卒業時には、その個人の知識と技術の財産を持って卒業し、社会で活躍するなかでさらに新しい情報を追加し、成長する個人の知的財産として生涯にわたり活用してください。

予測困難な社会において皆さんに求められること、それは「柔軟に課題・問題を解決し続けられる能力」を持っていることです。マスコミなどでは、人工知能技術の応用により色々なことが人間以上にできることが報道されていますが、必要とされる能力は一言で言えば人工知能技術で取って替わることができない能力です。

そのような能力を身につけること、培うことは容易ではありませんが、畿央大学における能動的な学びとその実践により、入学された皆さんが、将来の社会ニーズに応え続けられる能力を身につけ、人間として大きく成長されることを期待いたします。

本日は誠におめでとうございます。以上をもって、新入生の皆さんへのお祝いの言葉といたします。

令和二年四月二日

畿央大学 学長 冬木正彦